

2017年8月  
1125号

# 万葉

Manyo

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

祝 米寿！赤松良子先生  
～感謝～  
さあ踏み出そう！  
新しき歴史は新しき風と共に創ろう！

赤松先生の思いに少しでも添えるようにと、共に生きている一冊の会・櫻華塾。

私たちは社会貢献一筋に“今、何を世界では求めているのか？”模索しながら時間を見つけ時代を読み、自らの成長を目指して今日を迎えることが出来ました。

赤松先生の米寿のお祝いは“櫻華塾生で”を合言葉で、8月13日ホテル雅叙園東京に集いました。

この日のヒロインは白地の襟に刺繍のロングドレス、ヒョウ柄のコートドレスをお召しになり、和室にふさわしくとても美しい先生の装いでした。

到着と同時に先生を囲んで記念撮影。一冊の会のテーマソングでもある“一本の鉛筆”のBGMの流れるなか“牛若”の間に全員着席。お祝いのケーキのロウソクを赤松先生が消すと、全員で「Happy Birthday to you」・・・と合唱。長年にわたり日本音楽界第一線で活躍されている宮下要氏による素晴らしい祝賀演奏は宴を盛り上げて下さいました。



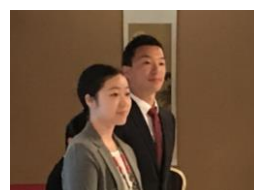
祝宴の前に、櫻華塾生出身の、厚生労働副大臣高木美智代氏が櫻華塾生を代表してご挨拶を致しました。プレゼントは平間さんから掛け軸を、石田理事長からはINPS JAPANの浅霧理事長からの金と銀のチョコレート。また先生からは、櫻華塾生で婚約したメンバーに毎年お祝いの“赤いバラの花”を贈って頂いておりました。今日までの7組の夫婦はそれぞれ円満に元気に暮らしていることを報告。また今年婚約が決まっている太陽Gの石関さんも“赤いバラ”を頂きました。



平間さん、石田理事長からプレゼント



婚約が決まった石関さん



当日夫婦で参加した山内夫婦と赤田夫婦

### 【パイオニアグループ発表！赤松先生と櫻華塾】

大槻会長からは、一冊の会と櫻華塾生が赤松先生からお力を頂いて発展したことへの感謝を申し上げ、皆で成長して行く決意を述べました。

52年続いた万葉と共に赤松良子世界インターネット配信。第一章のIT時代の情報発信はフェイスブックでの発信と進化してきました。第二章は「YouTube」での動画配信の計画を鬼童事務局次長から発表。パイオニア精神に燃える赤松先生。この精神を少しでも受け継ごう！と新たにパイオニアグループが発足。メンバーの力で「赤松良子世界 YouTube 配信」に発展致します。

### 【櫻華塾生の発表】

鳥飼さん、深川さん、瀧川さん、山内さんの4人が代表して発表致しました。又津波被災地各市・町と共に雪香プロスパーポローニア（復興祈念樹）の植樹を行っておりますが、今後も全市町村に植える計画であることを大槻会長が改めて表明。中本さんが、東日本大震災復興祈念樹を続けて植樹していく決意を宣言しました。

これらの発表と先生への感謝の気持ちは、とてもこの小さな紙面では伝えきれませんので、次号（万葉1126号）で詳しくお伝えします。

食事と歓談を交えながら祝宴は進み、一冊の会親善大使・カズンの漆戸さん、櫻華塾生の佐藤玉美さん、事務局次長の鬼童さんからそれぞれ歌のプレゼント。最後は皆で「ふるさと」を大合唱。

### 【赤松先生よりご挨拶】

祝宴の最後に赤松先生からご挨拶を頂戴致しました。『九十歳。何がめでたい』という本がベストセラーになりました。私も「88歳何がめでたい！」と言おうと思いましたが、皆さんがお祝いして下さるので、おめでたいと思っています。感謝という言葉頂きました。あまり貢献していないのに…。こんなに感謝して戴いて…。世の中の為に、まだ役に立つことがあるのならば…。色々迷いましたが、励まして下さる方々が大勢いらっしゃるの、少し頑張っ世の中の役に立ちたいと思っています。世の中には一冊の会も入ります。今日は本当に有難うございました。



漆戸さんの伴奏で「あざみの歌」を歌う佐藤さん



鬼童事務局次長が「オーソレミオ」を熱唱



赤松先生のメッセージに一同大感激・感謝！拍手・大拍手……。赤松先生に心の中で、改めて最敬礼致しました“敬礼！” 石田理事長が閉会の辞の中で「人生の……」と言うとすかさず一同「人生の本舞台は常に将来に在り」と唱和！さすが全員櫻華塾生。先生も一同の勢いにきっと驚かれた事と思います。会場を出て行かれる折には、先生は二度も振り返って手を振って下さり、胸が熱くなりました。先生の益々のご長寿を祈念しております。我々も先生に見習い、微力でも世の中のお役に立てるように邁進して参ります。

文責：赤田研究員・平間研究員



3組に分かれて写真撮影を行いました。